



五小だより

国立市立国立第五小学校
学校だより

No.8

令和2年(2020年)11月30日

「体育授業成果発表会」

副校長 大貫 修

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、運動会が中止となりました。毎年の恒例行事である運動会を中止せざるを得ないほどコロナ禍が収まらない状況の中、決定に際しましては保教会を始め、保護者の皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます。そのような中、子供たちのために何かできないかと活動部が中心となって「体育授業成果発表会」を計画しました。

密状態を回避するために低・中・高学年に分かれて別の日に行い、他学年の種目や発表を見合いました。低学年の「玉入れダンス」や「50mかけっこ」では、かわいらしさと一生懸命さが溢れていました。中学年のチームワークが大切な「棒引き」や迫力ある「ソーラン節」は、上学年らしい頼もしさを感じました。そして、高学年の「くにごりんピック」では、応援合戦から始まる運動会さながらの盛り上がりでした。6年生にとっては運動会に代わる最後の発表会です。紅白の団長の掛け声が青空に大きく響きました。「エントリー種目」は、走り高跳び・ハードル走・中距離走から自分で選択した種目を披露しました。私が最も印象に残ったのは、走り高跳びです。バーを越す度に大きな拍手と喝采が周りの児童から沸き上がります。その様子は、まるで自分が飛び越したかのような喜びようでした。

他人事ならぬ「自分事」として応援し、声援を送る子供たちの姿は、この発表会の意義を改めて感じさせてくれるものでした。まさに「全ての子供が主役」でした。どの子供も自分の種目や役割に精一杯取り組む真剣な眼差しが見られました。そして、演技後の爽やかな笑顔が、子供たちの充実感・満足感を物語っていました。毎日の勉強や遊びとは違った活躍の場があると、そこで頑張って自信をもったり友達のよいところを発見したりします。始めはうまくいかないことや辛いことがあったとしても、練習を通して自分の課題を克服し、本番の緊張感や充実感を実感します。そして、仲間との信頼や絆を深めていきます。コロナ禍の中での短い練習期間でしたが、だからこそ得たこの経験をプラスにかえて、今後の学校生活に生かしてもらいたいです。



5・6年 応援合戦

【12月行事予定】生活目標 学校をきれいにしよう

1日(火) 校外学習(5年) 保護者会(1・2・3年・つ)	19日(土) 登校日 3時間授業(下校11:15頃)
安全指導日	授業参観 1校時 8:25~9:10 3年1組 (体育)
2日(水) 全校朝会 邦楽鑑賞教室(6年)	(校庭) 2校時 9:15~10:00 5年1組 (体育)
3日(木) パワーアップタイム高学年	3校時 10:15~11:00 3年2組 (体育)
4日(金) パワーアップタイム低学年	*雨天中止
7日(月) 委員会	21日(月) クラブ
8日(火) 避難訓練 日光移動教室事前健診(6年)	23日(水) 児童集会
9日(水)~11日(金) 日光移動教室(6年)	24日(木) 4時間授業 たてわり交流 給食終
14日(月) クラブ	25日(金) 終業式
16日(水) ユニセフ集会	

1・2年スポーツフェスティバルについて

2年 原田 翼

1・2年は、11月16日(金)にスポーツフェスティバルを開催しました。
天候にも恵まれ開会式の後、「ダンスで玉入れ(1年生)」「50mかけっこ(2年生)」「50mかけっこ(1年生)」「ソーラン節(2年生)」を行いました。夢中になって踊り、そして、力いっぱい走る子供たちや、一生懸命に応援する子供たちの姿……。秋の一日、素敵な時間を過ごすことができました。

3・4年スポーツフェスティバルについて

4年 川島 美咲

3・4年共に3種目行いました。当日もそれまでの期間も、皆で力を合わせて何かを作り上げる大切な時間になりました。3年生の「紅蓮華」は、緊張しながらも一生懸命さが伝わるダンスを、大きな動きで踊り切りました。隊形移動で周りを見ながら行動できるようになりました。4年生の「くにごソーラン」は、腰を落とし、力強さや団結が表現できるように、日々練習を積み重ねて踊り切りました。友達と教え合う、団結するために動きや声を合わせる姿に成長を感じます。このよい経験を忘れず、日々の生活の中で生かして行ってほしいです。

人権月間について

担当 善福 美絵

人権教育の大きな目標として、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになること、そしてそれが行動として現れ、人権を尊重する社会づくりに向けた行動がとれるようになることがあげられています。
そこで人権月間では、自分の大切さと他の人の大切さを認めることの大事さを考えながら「人権標語」(4～6年生)の作成や、新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別意識の解消を図る指導を行っています。ご家庭でもお子さんが普段何気なくしているよいこと、してもらっているありがたいことなどを話題にして、自分や周りの人の大切さについて考える機会をつくっていただければと思います。よろしくお願いします。

清掃週間について

担当 山田 芽久

11月16日～11月20日まで、清掃週間として教室の清掃を整美委員が確認しました。整美委員会の児童が、どのように行うか、チェックポイントはどのようなところか、企画から考えました。毎朝、教室の掃除がしっかり行われているか、整美委員がチェックするので、どの教室の児童も掃除を丁寧にしようという意欲が見られました。最後はチェックしたポイントを点数にして、賞状を渡します。

待ちに待った冬休み！

生活指導主任 遠藤 亜主加

例年になく長い2学期も終わりに近づき、もうすぐ冬休みがやってきます。学校では、冬休みに入る前に「健康で楽しい冬休みを過ごすために」(保護者会で配布予定)について指導します。ご家庭でも、特に次の2点についてご指導ください。

感染症対策を心がける…休み中でも、普段通りの感染症対策を！引き続き、マスク着用・密を避ける・こまめな手洗いを徹底しましょう。

暗くなる前の帰宅を……夕暮れが早い季節です。安全のため、帰る時刻をお子さんと改めて確認していただきたいと思います。また、出かける場所をお家の方にしっかり伝える習慣も身に付けてほしいと思います。☆夕焼けチャイム 16:00

普段できないことにチャレンジするなど、充実した冬休みを過ごしてほしいと思います。3学期の始業式に、元気な顔の子供たちと会えることを楽しみにしています。

<くにごの生活と健康シリーズ③>気持ちのよい挨拶を

生活指導主任 遠藤 亜主加

一学期から、登校時に正門に立って挨拶をしています。子供たちから元気な挨拶が返って来るが増えました。さらに、挨拶をきっかけに一言二言会話をする機会も多くあります。「カエルを見つけたよ。」や、「あそこに柿がなつたよ。」など、様々な学年の子と触れ合え、とても楽しいひと時です。改めて、挨拶はコミュニケーションの第一歩なのだと感じています。さて、お家での挨拶の様子はいかがでしょうか。「おはようございます。」「さようなら。」だけでなく、「ありがとう。」「いただきます。」など、共に気持ちよく生活するために欠かせない言葉がたくさんあります。私たち大人も改めて心がけ、子供たちの模範となっていきたいです。